

安否確認訓練は 思いやみ訓練

安否確認ご苦労様です！

我が家は 無事です

結の精神で災害を
乗り越えましょう

名前・連絡先等

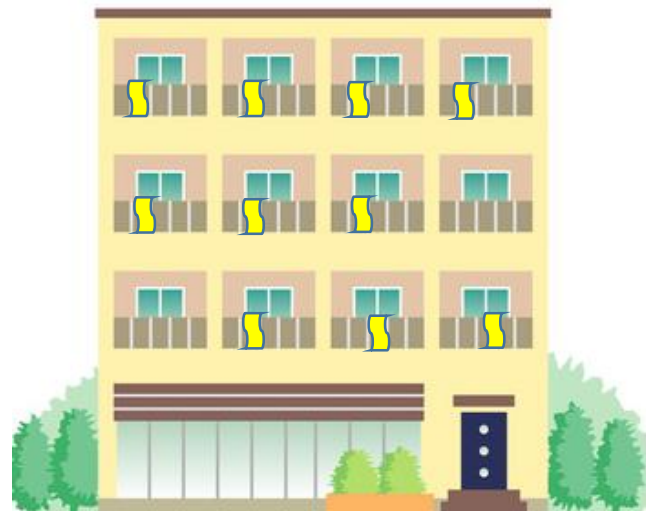
安否ハンカチ普及運動事務局 一般社団法人 防災プロジェクト

黄色いハンカチが**安否確認**を**スピードアップ**します
救助が必要な人を早く見つけないと手遅れに。迅速な安否確認が、助かる命を救います。



掲示方法は自治会で 早く、確実に確認できる方法を模索

集合住宅では……



表



裏

郵便受け



ベランダ



安否確認プレート

無事ですタオル

黄色い旗

安否確認訓練の流れ

1月21日(日)

9:40 訓練告知放送(防災行政無線が聞こえづらい場合もあるので必要に応じハンドマイク等で呼びかけを実施)

10:00 訓練放送(災害・緊急情報配信システムからも同時配信され、また、市のホームページにも掲示されます。)

★シェイクアウト訓練(聞こえない場合も時間になったら開始)

各ご家庭で身を守るための行動

まず低く・頭を守り・動かない(約1分間)

シェイクアウト訓練終了

★安否確認訓練

各ご家庭は……玄関先などに無事であることを示す黄色のハンカチ等を掲示する。

自主防災組織役員等は……掲示状況を確認

12:00 各ご家庭は黄色のハンカチ等を収納

安否確認訓練終了

初めて安否確認訓練を実施する場合(参考)

【STEP1】 ……まずは一連の流れを把握してもらうこと！……

①市役所から配布された安否確認訓練に関するチラシを周知

②シェイクアウト訓練

防災行政無線のスピーカーから緊急地震速報訓練の放送が聞こえたらシェイクアウト訓練の開始。約1分間身を守る安全行動を実施
(もし聞こえづらい場合でも時間になったら開始してください！！)

③続いて安否確認訓練

無事であることを示す明るい色のハンカチ等を玄関先等から見やすい場所に掲示してもらうことを図示・説明。このため、集合住宅の場合は掲示する場所を事前に話し合っておきましょう。

(ドアノブやベランダ、1階の郵便受け等)

④役員等は地域を巡回し、掲示されている概数を確認する。

(初めて実施する際は、ハンカチ等の掲示がない場合においても呼び出しベルは鳴らす必要はありません。)

⑤概ね2時間後くらい経過したらハンカチ等を撤収するよう説明しておく。

参加率が半数を超えてきたら(参考)

【STEP2】 ……安否確認訓練の本来の目的を理解してもらうこと……

①事前準備

◎自主防災組織で黄色いハンカチ等を購入・配布（活動支援事業の対象です。ご活用ください。）

◎自治会等に参加していない家庭にも周知できるように掲示板等も活用する。

◎安否確認（訓練）実施の基準を定めておく。（参考：市は震度4以上で災害警戒本部を、震度5弱以上で災害対策本部を設置します。）

◎回覧板やお知らせにてハンカチ等が掲示されていない場合は役員が呼出しベルを鳴らすことを事前に周知しておく。（周知については、トラブル防止のため注意を払うとともに旅行や出張で長期不在となる方や夜勤明けで参加が困難な方の事前確認を実施する等、ご検討ください。）

②訓練当日

担当役員等により確認・集計した掲示数を自治会本部に報告。（担当役員等も被災する可能性があるため最低2名以上を指定してください。）

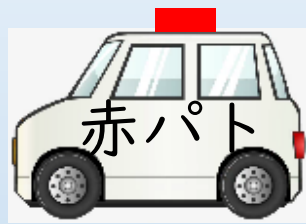
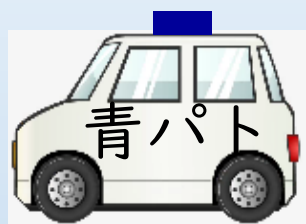
③自治会本部は、掲示されていた軒数、報告受け時間等を集計

より実践的な訓練にするために(参考)

【STEP3】 ……近所と共助で一人でも多くの人を助けるために……

- ①安否確認訓練の情報に基づき救出班を編成し、救助活動（実動なし）
- ②前回の実績を分析し、目標を設定（参加軒数、掲示割合、確認・集計時間）
- ③目標達成のために実施することを列挙し、それを実行
 - ・ 掲示がなく、呼出しベルにも応答しない家庭には、本訓練の趣旨を記載したアンケート用紙を送付し、意見を聴取して解決策を模索する。
 - ・ 確認に時間がかかった班・組等があればその理由を分析し、区分けを細分化するか、もしくは担当役員の増員を検討する。
- ④より多くの住民に本訓練の趣旨を理解していただくため、自主防災組織独自で回覧板や掲示物を作成するとともに、掲示要領等を工夫する。

「市役所の車が巡回するから自主防災組織の役員は見て回る必要はないのでは？」という方がおられますが、市役所、警察車両等が地域を巡回するのは



ハンカチ等の数を数えているのではありません。

市役所は**被害状況の把握**、
警察は**空き巣被害等を防止**するため
地域の警戒巡視を実施します。

安否確認訓練は

**短時間にハンカチ等の数を
確認・集計するためだけの
訓練ではありません！**

**家の中で動けなくなった負傷者を
できるだけ早く探し出し、
救助するための手段の一つ**

ということを忘れずに